

## 第 7 回福山市学校教育環境検討委員会の議事概要

1 日 時 2014年(平成26年)7月24日(木) 10:00~12:00

### 2 委 員

◎委員長, ○副委員長

| 名 前   | 役職名             | 名 前      | 役職名            |
|-------|-----------------|----------|----------------|
| ◎秋川陽一 | 福山市立大学教育学部教授    | 森美智代(欠)  | 福山市立大学教育学部准教授  |
| ○永井純子 | 福山平成大学福祉健康学部教授  | 村上勝士     | 福山市自治会連合会会長    |
| 小野明人  | 福山市民生・児童委員協議会会長 | 藤井春勝     | 福山市公民館長会会長     |
| 平田誠治  | 福山市PTA連合会会長     | 藤原理絵(欠)  | 福山市PTA連合会副会長   |
| 西本紀子  | 福山市PTA連合会会計     | 岡本康成     | 福山市子ども会育成協議会会長 |
| 荒木一夫  | 福山市公立小学校長会会長    | 川崎富男     | 福山市公立中学校長会会長   |
| 松本茂太郎 | 福山商工会議所副会頭      | 喜多村祐輔(欠) | 福山青年会議所理事長     |
| 藤本和士  | 連合広島福山地域協議会事務局長 |          |                |

### 3 概 要

- (1) 教育長挨拶
- (2) 事務局報告  
第6回検討委員会の議事概要
- (3) 審議事項
  - I 教育効果を高めるための望ましい学校規模等の基本的な考え方について
  - II 社会の変化に対応する教育環境の整備に向けた具体的な方策について
  - III 児童生徒の健全育成のための教育環境の整備について
- (4) その他

#### 【意見】

#### 《教育効果を高めるための望ましい学校規模等の基本的な考え方について》

##### ◆小中一貫教育校について

- ・諮問事項I『教育効果を高めるための望ましい学校規模等の基本的な考え方について (3)小中一貫教育校について』は、資料2の内容を、中間まとめとする。
- ・PTAの中では、一体型の小中一貫教育校について、保護者から否定的な意見はなかった。幼稚園も一緒になれば良いという意見もあった。

#### 《社会の変化に対応する教育環境の整備に向けた具体的な方策について》

##### ◆情報化・グローバル化に対応した教育の推進

- ・グローバル化に対応した人材育成のためには、家庭や学校だけでなく、地域においても、子どもが自分の意見を述べる力やコミュニケーション能力を育む環境を作ることが大切である。

#### ◆地域連携

- ・小中一貫教育における中学校区での一体的なつながりを作るため、夏休み中に、小学生に、中学校のクラブ活動等に参加させるという計画を立てている。小学生が中学校を知っていく上で、大事なことでないかと思う。
- ・通学路における地域の見守り活動があるが、子どもと地域の人とのつながりが、安心安全面で重要な役割を果たしている。
- ・地域の中での人材育成は、子どもが持っている力を発揮できるような場を作ることが大切である。
- ・福山市は、地域の教育力という面で、非常に可能性があると思う。子どものことについても、学校におまかせにするのではなく、地域が非常に深く関わっている。

#### 《児童生徒の健全育成のための教育環境の整備について》

##### ○健やかな体を育む学校教育環境の整備

#### ◆学校給食

##### \*小中一貫教育を推進する上での、中学校給食の意義

- ・給食1食分のカロリーなど、栄養について学習することができ、自身の健康管理につながる。
- ・ふるさと学習において、福山の特産物や地産地消について学習し、給食でその食材を実際に食べることにより、ふるさと福山をよりよく知って、自分たちの郷土への愛着を深めることになる。
- ・給食を教材にして、摂取エネルギーや栄養の発育・発達への影響などについて学び、健康に関する自己管理能力を育成することができる。
- ・異学年との交流の場で、食事のマナーや生活上のルール等、給食を通じた学びができる。

#### ◆空調（冷房）

- ・今の暑さでは、熱中症が心配である。
- ・午後の授業時間帯などは、暑くて勉強に身が入らない。午前中の授業を早く始めて、午後は帰るなど、サマータイム制のような、緊急避難的な試みが必要なのではないか。
- ・平熱体温が低い子どもが増えており、以前に比べて体温調節機能が衰えている。空調を含めた健康管理が必要である。
- ・小学校では、暑い時期の休憩の取り方や水分補給について、指導をしている。
- ・中学校では、夏季休業中の登校日に、授業開始時間を通常より早めるなど、涼しい時間帯に生徒が学習できるよう、取組を行っている学校もある。
- ・子どもの数が減少していることも踏まえ、全室に空調をつけるのではなく、設置する部屋を増やしていったら、特に午後は、空調のついている涼しい部屋に移動して勉強するという方法もあって良いのではないか。
- ・耐震化も並行して行っている中、空調整備までとなると、多額の費用がかかることが想定される。
- ・福山市の空調の整備率が、全国平均や県平均に比べて低いので設置率を上げていただきたいところだが、市の財政状況を考えると、あれもこれもという訳にはいかないと思うので、計画的に検討を進めていただきたい。

◆洋式トイレ

- ・生活スタイルが洋式トイレになっているため、小学校入学時に、子どもが和式トイレを使えるか、不安に思っている保護者がいる。
- ・衛生的には、洋式トイレが望ましい。学校を地域の高齢者が使用することも考えても、洋式が良い。

◆その他

- ・PTA等が設置している冷水機は台数が少なく、子どもたちから増設の要望も出ている設備である。
- ・子どもたちが、行政でなければできない学校教育環境に関する要望を出せるような仕組みを整えられれば良い。

○その他

\*放課後子ども教室

- ・地域住民の協力を得て、子どもたちの居場所づくりのため、36か所で放課後子ども教室が実施されているが、教室までの登下校時の安全確保に不安がある。

【まとめ】

- 諮問事項1の『小中一貫教育校について』は、資料2を現時点でのまとめとする。
- 諮問事項2は、資料3を、意見を踏まえて加筆修正し、現時点でのまとめとする。
- 諮問事項3については、次回中間まとめを行う。
- 今回は、各中間まとめについてさらに協議を進める。